

## 公民館情報

### 令和元年度 第14回 行方市文化祭

#### 【開催テーマ】育もう！未来につなぐ文化の芽！！

芸術・文化の祭典を開催します。日々修練された素晴らしい作品を多数展示します。

また、磨きぬかれた技や華やかな芸能発表など、盛りだくさんの企画を予定しています。

この機会に、ぜひ皆さんでご覧になってください。

#### 【作品展示の部】

11月1日（金）～11月4日（月）15時まで

#### 【発表・大会の部】

10月26日（土）～11月24日（日）16時まで

#### 【会場】

麻生公民館・北浦公民館・玉造公民館・文化会館

※詳しくは、10月号の広報紙と共に各戸配布した案内チラシをご覧ください。

（主催）行方市文化祭実行委員会

（後援）行方市、行方市教育委員会

【問】文化祭実行委員会（北浦公民館内）

☎ 0291-35-3777

## 「行方市文化財」巡り旅 81

### 萬福寺 金剛力士像 阿形 吽形

市指定有形文化財（市指定有形文化財）  
指定年月日：平成23年5月26日  
所在地：羽生



雷電山慈心院 萬福寺は、行方市羽生にあり、七堂伽藍を配置するなど1千年の歴史を有する天台宗の古刹です。

敷地内には、茨城県の有形文化財に指定されている「阿弥陀堂」や「仁王門」「阿弥陀如来立像」など、その由緒にふさわしい建物や仏様が納められています。

本力士像は、平成23年に行方市指定有形文化財に指定されたもので、本尊守護の役割を担い、仁王門に配置されています。

二軀の仁王像は、ヒノキ材の寄木作りで目は玉眼、錆漆下地に肉身は朱漆、裳裾は彩色仕上げとなっています。二体共に上半身は裸形で筋骨隆々とし、怒りの形相を顕にした阿形像と、怒りを内に秘めた表情の吽形像で一對となっています。

平成20年9月から平成22年9月まで修理が行われたことにより、吽形像の左腕取り付け接合部に墨書銘が発見され、江戸時代中期の享保8（1723）年の造像年や、明和3（1766）年に再興されていることがわかったという大変貴重な仏像です。

【問】生涯学習課文化・社会教育グループ ☎ 0291-35-2111

## はい、こちら行方市消費生活センター！



### 「モノなしマルチ商法」にご注意！！

#### 【事例】

中学時代の友人から、いい話があるから会わないかという電話があり、レストランで会った。別の勧誘者も同席し「海外の不動産に投資をすれば仮想通貨で配当があるので、消費者金融で借金をしても埋め合わせができる。投資者を紹介すれば紹介料を受け取ることができるので、借金の返済は簡単だ」と説明を受けた。学生だと借金できないので結婚式の費用として借りるように指示され、消費者金融4社から総額約130万円を借金して、代金を友人に手渡した。しかし、契約書面や領収書は受け取っておらず、セミナーにも参加したが投資の仕組みの説明は全くなかった。友人に解約の連絡をしたところ、半額しか返金できないと言われた。

#### 【解説】

近年、ファンド型投資商品や副業などの「役務」に関する相談が増加しており、「商品」より「役務」のマルチ商法（「モノなしマルチ商法」）の相談が多くなっています。友人やSNSで知り合った人などから、仮想通貨や海外事業等への投資やアフィリエイトなどの儲け話を「人に紹介すれば報酬を得られる」と勧誘され契約したものの、事業者の実態や儲け話の仕組みがよく分からない上、事業者に解約や返金を求めても交渉が難しいというケースが多くみられます。友だちや知り合いから勧誘されても、きっぱりと断りましょう。不安に思った場合やトラブルになった場合は、行方市消費生活センターに相談しましょう。

— まずはお電話を！ —

【問い合わせ】行方市消費生活センター ☎ 0291-34-6446